

# 京都混声合唱団 創立 100 周年記念演奏会

● ● ● ● ● ●  
誕生 終戦 復興 50 周年 現名誉指揮者就任 現指揮者就任 100 周年  
1925 1945 1975 1991 2015 2025

## マタイ受難曲

J.S. バッハ作曲

京都混声の  
新しい世紀が始まります。

1925 年頃、京都の音楽家たちが熱い思いを持ち寄り、翌 1926 年、京都在住の「同声会」（東京音楽学校同窓会）メンバーに音楽愛好家が加わって正式に発足したのが、京都混声合唱団の前身です。戦前は主に音楽の専門教育を受けた者の集団、戦後はアマチュア合唱団として、今も歌い続けています。支持母体を持たない混声合唱団としては日本最古級の団体です。このバトンを、ぜひ次代へつないでいきたいと思えます。

（東京音楽学校＝のちの東京藝術大学音楽学部の母体）

100th Anniversary

2025

3.16 日

開演 13:30 開場 12:45

京都コンサートホール（大ホール）

入  
場  
料

1500円（当日・前売共）

全席自由 ※未就学児童のご入場はご遠慮ください

主催／京都混声合唱団 後援／京都市 京都市芸術文化協会  
助成：芸術文化振興基金 三菱UFJ信託地域文化財団



イエス 三原 剛 指揮 小玉 晃 エヴァンゲリスト 清水 徹太郎



オルガンI: パブロ・エスカンデ  
オルガンII: 富田一樹  
管弦楽: 音登夢管弦楽団  
合唱: 京都混声合唱団  
混声合唱団 スコラ・カントルム神戸（賛助出演）  
児童合唱: 京都市少年合唱団

オルガンI: パブロ・エスカンデ

オルガンII: 富田一樹

管弦楽: 音登夢管弦楽団

合唱: 京都混声合唱団

混声合唱団 スコラ・カントルム神戸（賛助出演）

児童合唱: 京都市少年合唱団

お  
チ  
ケ  
ッ  
ト  
の  
お  
申  
し  
込  
み

京都混声合唱団

電話 090-1226-1717

<http://kyou-kon.jp/>

e-mail: [info2@kyou-kon.jp](mailto:info2@kyou-kon.jp)

※ホームページからもチケットをお申し込みいただけます。



## 小玉 晃 (指揮)

京都市立芸術大学大学院で蔵田裕行氏に学んだ後渡欧。ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科修了。ドイツ歌曲をモア、ホッター、シュライヤー、ヘフリガー、ペリー他に、発声を宮廷歌手ニコロヴァに学ぶ。ベートーヴェン『第九』、バッハ『マタイ受難曲』などのたくさんのソリストを務める他、自らオーケストラを指揮しながらソロを歌う(振り歌い)など演奏の可能性を広げている。クリアな歌声を生み出す独自の発声メソッドには定評があり、自身が主催する《小玉メソッド》での指導の他、国内外からの指導依頼も多い。効率よく上達できる発声体操の YouTube 動画は各方面から大きな反響を得ている。J.S.G. 国際歌曲コンクール第1位。青山音楽賞、松方ホール音楽賞大賞他受賞。混声合唱団スコラ・カントルム神戸、京都混声合唱団、女声合唱団ヴォワ・ドゥ・ママン、サントリー1万人の第九、パナソニック合唱団他指導者。大阪音楽大学、同志社女子大学、県立西宮高校音楽科講師。関西二期会会員。小玉メソッド主宰。シューマン《詩人の恋》、日本の歌を集めた《うたの絵本》、シューベルト《冬の旅》のCDをリリース。

## 清水 徹太郎 (テノール)

京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。第33回飯塚音楽コンクール第1位、第82回日本音楽コンクール入選他多数上位入賞。文部科学大臣賞、平成29年度坂井時忠音楽賞、平成30年兵庫県芸術賞奨励賞、令和5年度京都府文化賞奨励賞他多数受賞。「カルメン」「魔笛」「夕鶴」「ラインの黄金」「メデア」等、現在まで50演目以上のオペラに主要役で出演。C=エッシェンバッハ指揮「千人の交響曲」、チョン=ミョンファン指揮「第九」、A=ゼツダ指揮「スターバトマーテル」等室内楽ソリストとしても国内外で活躍。藤原歌劇団団員、びわ湖ホール声楽アンサンブルソロ登録メンバー。兵庫県音楽活動推進会議員。滋賀大学、大阪音楽大学、京都市立芸術大学講師。

## 三原 剛 (バリトン)

大阪芸術大学卒業。1991年第22回日伊声楽コンコルト金賞、92年日本音楽コンクール第1位。翌93年、五島記念文化賞オペラ新人賞を受賞し、ドイツのケルンに留学。ハーゲン歌劇場、ヴィッテン、グンマースバッハ歌劇場に出演。国内でも『魔笛』(日生劇場)『フィガロの結婚』ほか多くのオペラに出演。2006年ヘンツェのオペラ「午後の曳航」で、ザルツブルク音楽祭、フィルハーモニー(バルリン)、オーデトリウム(トリノ)に出演など国際舞台でも実績を上げる。NHK交響楽団をはじめ国内主要オーケストラと共演を重ね、バロック期から現代作品に至る幅広いレパートリーで高い評価を得ている。第9回新・波の会日本歌曲コンクール第1位、第7回グローバル東敦子賞、平成17年度大阪文化祭賞などを受賞。大阪芸術大学演奏学科教授。

## 田中 彩子 (ソプラノ)

18歳で単身ウィーンに留学。22歳でスイスベルン州立歌劇場にて同劇場日本人初かつ史上最年少でソリスト・デビューを飾る。その後ウィーン、パリ、ロンドン等、国内外問わずグローバルな活動を続けている。エステバン・ベンセクリが彼女の声をもとに作曲した「コロラトゥーラ・ソプラノとオーケストラのための5つのサークルソング」でアルゼンチン最優秀初演賞を受賞。同アルバムは英国BBCクラシック専門音楽誌にて5つ星に評された。日本でも2014年エイベックス・クラシックスよりCDを発売し、デビュー以来全国でのリサイタルツアーを行っている。MBS「情熱大陸」やNHKBS「ザ・ヒューマン」などのメディア出演も多数。2019年News week誌「世界が尊敬する日本人100」に選出。一般社団法人Japan MEP/代表理事、エルシシステム舞鶴子どもコーラス特別顧問、学校法人AICJ 鷗州学園理事長。

## 清水 華澄 (アルト)

静岡県出身。国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁在外派遣研修員およびローム・ミュージック・ファンデーション在外音楽研究員として渡伊。新国立劇場、東京二期会、日生劇場などのオペラ公演に出演。近年では東京二期会『ドン・カルロ』エボリ公女役、新国立劇場『リゴレット』マッダレーナ役、兵庫県立芸術文化センター『蝶々夫人』スズキ役に出演している。コンサートソリストとしても、マーラー交響曲第2番『復活』、第3番、第8番『千人の交響曲』、ヴェルディ『レクイエム』、ベートーヴェン交響曲第9番。国立音楽大学准教授。名古屋音楽大学客員准教授。三島せせらぎアンサンブルメンバー。二期会会員。

## 黒田 祐貴 (バス)

東京藝術大学声楽科卒業、同大学院修士課程オペラ科修了。第87回日本音楽コンクール第2位、岩谷賞受賞。第20回東京音楽コンクール第3位。▽

日本コロムビアより「Meine Lieder」リリース。兵庫県立芸術文化センターやサントリーホール、日生劇場などのオペラ、オペレッタに出演。ドイツリートやオラトリオの研究にも積極的に取り組んでおり、2023年よりドイツにて白井光子、Hartmut Holl 両氏の元で研鑽を積む。二期会会員。

## パブロ・エスカンデ (オルガン)

ブエノスアイレスの音楽院でディプロマを取得後、オランダでチェンバロ、フォルテピアノ、通奏低音をJ・オッホに、作曲をR・レイナに師事。世界各国から委嘱を受け、国際的なアーティスト達により演奏されている。2008年アメリカ・アリエノール作曲コンクール名誉賞。2016年イタリア・ノヴァーラ映画音楽作曲コンクール入賞。TRINAC2017優勝。作曲編曲だけでなく、幅広い知識や見解による指揮や伴奏にも定評がある。日本テレマン協会ミュージックアドバイザー、テレマン室内合唱団指揮者、KANSAI BAROQUE 指揮者、京都女子大学非常勤講師。

## 富田 一樹 (オルガン)

大阪音楽大学オルガン専攻を最優秀賞を得て首席で卒業。同大学音楽専攻科オルガン専攻を修了。リユーベック音楽大学大学院オルガン科修士課程を最高得点で修了。オルガンをアルフィート・ガスト、古楽をハンス・ユルゲン・シュノールの各氏に師事。ライプツィヒ第20回バッハ国際コンクール・オルガン部門にて日本人初となる第一位と聴衆賞を受賞。これまでに「咲くやこの花賞(音楽部門)」「音楽クリティック・クラブ賞(奨励賞)」「坂井時忠音楽賞」「2023年度(令和5年)大阪文化賞」等を受賞。ドキュメンタリー番組「情熱大陸」(2016年12月)に出演。バロック音楽を得意とし、国内外で数多くの演奏会に出演。YouTubeにてパイプオルガンを紹介する活動も行う。2024年4月から神戸女子学院非常勤講師。(一社)日本オルガニスト協会会員。

## 音登夢管弦楽団

木村直子を中心とするオーケストラ。木村直子は京都フィルハーモニー室内合奏団のコンサートミストレスを務めた。1998年夫君木村政雄と共に音楽企画集団「音登夢」を創立。音登夢管弦楽団は、室内楽のようなきめ細かいアンサンブルが持ち味のオーケストラである。中でも小玉晃氏が指導される合唱団とのコラボレーションは好評を博している。

## 京都市少年合唱団 (児童合唱)

全国で公立初の少年合唱団(児童合唱団)として1958年に創立され、合唱を通して豊かな音楽性と人間性を育むことを目的に活動を行っている。年に2回開催する定期演奏会を活動の中心とし、京都市交響楽団等のプロのオーケストラ、著名な指揮者、海外の団体とも多数にわたり共演を重ねている。また小澤征爾音楽塾オペラ公演等のオペラ児童合唱にも多数出演、その他ポップスアーティストとの共演を果たすなど、ますますその活動の幅を広げている。

## 京都混声合唱団

昭和の幕開けとほぼ同時に誕生した、歴史ある合唱団。現在は小玉晃常任指揮者の指導のもと、正しい息とクリアな発語による響きを大切に歌唱に取り組む。演奏会では伝統的に、オーケストラ伴奏で宗教曲を歌うスタイルを基本としている。団員の年齢層は20代から80代まで、職業もさまざまな者が集まり、在籍者数は現在約70名。近年の演奏曲はヘンデル「メサイア」(2023年・3団合同演奏会)、フォーレ/ラター「レクイエム」(2020年・創立95周年演奏会※コロナ感染拡大のため中止)など。蔵田裕行氏(京都市立芸術大学名誉教授・公益社団法人関西二期会名誉会長)を名誉指揮者としている。

## 京都コンサートホール

京都市左京区下鴨半木町1-26  
TEL: 075-711-2980

京都市営地下鉄丸線北山駅下車  
1番または3番出口 南へ徒歩5分

